2026年11月４日

各位

会 社 名 株式会社ベクターホールディングス
代 表 者 代表取締役社長　岩井 美和子
（コード番号：2656）
問 合 先 取締役社長室長　菅原 聡子
（TEL　03-6304-5207）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年５月15日に公表しました2027年３月期第２四半期（中間期）（2026年４月１日～2026年９月30日）の連結業績予想及び2027年３月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 640	百万円 195	百万円 145	百万円 160	円 銭 5.07
今回修正予想（B）	632	270	271	259	8.07
増減額（B－A）	△8	75	126	99	―
増減率（%）	△1.25	38.46	86.90	61.88	―
（参考）前中間期実績（2026年３月期）	46	△272	△305	△301	△15.03

２．2027年３月期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,300	百万円 410	百万円 360	百万円 340	円 銭 10.77
今回修正予想（B）	1,240	430	410	360	11.20
増減額（B－A）	△60	20	50	20	―
増減率（%）	△4.62	4.88	13.89	5.89	―

（参考）前期実績 （2026 年３月期）	156	△593	△660	△549	△23.04

（注）今回修正予想（Ｂ）の「１株当たり中間純利益」及び「１株当たり当期純利益」の算出にあたり、2025 年６月 16 日を払込期日とする第三者割当増資によって発行した新株予約権の行使（150,400 株）及び 2026 年３月９日を払込期日とする第三者割当増資によって発行した新株予約権の行使（3,551,500 株）により増加した発行株式数を反映しております。

３．修正の理由

第２四半期（中間期）につきまして、売上高は、FHE（完全準同型暗号）対応高性能サーバーの演算力レンタル事業において、大型受注による売上を計上いたしましたが、一方、従前からの ICT 事業において、電子署名サービス「ベクターサイン」の登録会員数は順調に増加しているものの、売上額が想定をやや下回ったこと、ソフトウエア販売においても、オフィスソフトや業務アプリが AI 機能を標準搭載する方向へ進んでいる影響を受け、PC ソフトウエアの主力商品の販売数が減少したこと等により、上記業績予想値となりました。

営業利益につきましては、上記に加え、当初想定した AI 関連事業を推進するために協業するパートナー企業に対する業務委託費及び専門人材採用による人件費を事業の進捗状況に合わせて抑制してきたこと等が主な要因で、上記業績予想値となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、上記に加え、2026 年３月に実施した第三者割当増資により発行した新株予約権の行使による株式交付費を前期に一括計上していたこと等が主な要因で、上記業績予想値となりました。

通期業績予想につきましては、当社の今後の事業計画に基づき、高度なノウハウを持つパートナー企業との協業のための業務委託費、AI 技術を活用したクリエーター向けの新たなサービスプラットフォーム構築のためのシステム開発費、当社の提供するサービスを拡大させるための営業活動費等を積極的に活用することとし、前期の業績を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上記業績予想値といたしました。

当社は、今後、当社の企業価値向上を目指し、AI 関連需要の拡大を背景とする成長分野への取組みを推進し、収益基盤の確立に向けた設備投資及び営業強化を進めて参ります。

（注）上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上